

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 2 - (1)

| | | | | | | |
|------|-----|-----------------------------|-------|-----------|---------|----|
| 政策体系 | 施策名 | みんなで進める健康づくり運動の推進 | 所管部局名 | 福祉保健部 | 長期総合計画頁 | 39 |
| | 政策名 | 健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～ | 関係部局名 | 福祉保健部、教育庁 | | |

【 . 主な取り組み】

| | | | | |
|------|------------------|--------------------|---------------|---------|
| 取組 | | | | |
| 取組項目 | 健康づくりのための県民運動の展開 | 対象を明確にした生活習慣病対策の推進 | 健康を支える社会環境の整備 | 介護予防の推進 |
| 取組 | | | | |
| 取組項目 | 総合的な自殺対策の推進 | | | |

【 . 目標指標】

| 指 標 | 関連する取組 | 基準値 | | 29年度 | | | 31年度 | 36年度 | 目標達成度(%) | | | | |
|------------------------------|--------|-----|-------|----------------|----------------|--------|-------|-------|----------|----|----|-----|-----|
| | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 |
| 健康寿命(歳) (日常生活に制限のない期間の平均) | 男性 | H22 | 69.85 | 71.80 (H28) | 71.54 (H28) | 99.6% | 71.80 | 73.75 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 女性 | H22 | 73.19 | 75.11 (H28) | 75.38 (H28) | 100.4% | 75.11 | 77.03 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

【 . 指標による評価】

| | | |
|----|---|------|
| 評価 | 理 由 等 | 平均評価 |
| 達成 | 生活習慣病の発症・重症化予防等に加え、地域包括ケアを推進し、高齢者の介護予防に力を入れてきたことなどにより、目標値を概ね達成した。 なお、健康寿命は、国が3年に1度国民生活基礎調査を行っており、H29年度の目標値と実績値は直近のH28年度の数値を記載している。 | 達成 |

【 . 指標以外の観点からの評価】

| 取組 | 指標以外の観点からの評価 |
|----|--|
| | <p>・経済団体や保健医療福祉39団体から成る「健康寿命日本一おおい創造会議」の開催や、「おうえん企業」登録制度を実施し(68社)、県民総ぐるみでの健康づくりを推進した。</p> <p>・働く世代の運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」を開発し、試験運用を開始した。</p> <p>・健康寿命延伸推進月間中に、市町村や関連団体と連携して健康づくりイベントを実施し、130,370人が参加した。(前年比156.1%)</p> <p>・貯筋運動サポーター養成講習会を鹿屋体育大学と連携して実施し、39クラブから117人が参加した。(H28:36クラブ、94人)</p> |
| | <p>・歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用の三本柱の取組により、児童・生徒の歯と口の健康促進が図られた。(フッ化物洗口実施小・中学校138校(H28:66校)、小学校5年生の朝食の摂取率90.3%(H28:89.7%))</p> <p>・県民健康意識行動調査で明らかになった地域の健康課題に応じて、市町村や関係機関と連携した健康づくりへの取組を行った。</p> |
| | <p>・「生涯健康県おおいた21推進協力事業所(店)」「健康応援団」の施設数増加に取り組むなど、健康づくりを支援する環境の整備を推進した。(H29 食の環境整備部門:486施設、受動喫煙対策部門:275施設、健康経営推進部門:309カ所)</p> |
| | <p>・地域住民が自助・互助による介護予防に取り組めるよう、知識・技術が習得できる支援マニュアルを作成した。また、自立支援ヘルパー実務マニュアルを活用し、リハビリテーション専門職等を実地に派遣(モデル5市町・10事業所)し、自立支援型サービスの拡大を図った。</p> |
| | <p>・相談支援事業所職員や教職員を対象にした自殺対策専門研修の実施(受講者数:89人)や、NPO法人と連携し青少年自殺防止ミュージカルを開催するなど、若年層に向けた自殺防止等の啓発を実施した。</p> |

【 . 施策を構成する主要事業】

| 取組 | 事業名(29年度事業) | 事業コスト(千円) | 事務事業評価 | | 主要な施策の成果掲載頁 |
|----|------------------|-----------|--------|----------|-------------|
| | | | 総合評価 | 30年度の方向性 | |
| | 地域スポーツ活性化推進事業 | 6,312 | A | 継続・見直し | 270 |
| | みんなで進める健康づくり事業 | 49,277 | B | 継続・見直し | 57 |
| ② | 児童・生徒の歯と口の健康促進事業 | 11,160 | A | 継続・見直し | 255 |
| | スクールヘルスアップ事業 | 12,103 | A | 継続・見直し | 256 |
| | 地域の健康課題対策推進事業 | 18,169 | A | 継続・見直し | 58 |
| | 地域介護予防推進事業 | 6,265 | A | 継続・見直し | 59 |
| | 自殺予防対策強化事業 | 49,787 | A | 継続・見直し | 60 |

【 . 施策に対する意見・提言】

| | |
|---|--|
| <p>健康寿命日本一おおい創造会議(H29.8、H30.2)</p> <p>・健康寿命延伸には、健康経営事業所の拡大と質の向上が必要。</p> <p>・県民運動の機運醸成には、多様な主体との協働による県民大会の開催等は効果的。</p> | |
|---|--|

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|---|
| A | <p>・「おうえん企業」の取り組みや企業と創造会議構成団体との連携事例の創出など、健康づくりのプラットフォームとして創造会議の更なる機能強化を図る。</p> <p>・創造会議に新たに野菜部会を設置し、主に若年層を対象にしたPRや一斉キャンペーンを行う等、野菜摂取促進に向けた仕組みづくりを行う。</p> <p>・健康経営の普及及び推進を担う人材を「健康経営推進員」として養成し、健康経営事業所のさらなる拡大を図ることにより、働く世代の健康づくりを推進する。</p> <p>・働く世代の運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」の魅力アップや積極的な広報活動を展開し、若い世代への浸透を図る。</p> <p>・自立支援型サービスを提供する訪問系サービス事業所の育成支援に取り組むとともに、サロンでの介護予防体操(めじろん元気アップ体操等)の普及などにより、県民主体の健康づくり・介護予防活動を推進する。</p> <p>・保健所を拠点に市町村や関係機関と連携して地域の健康課題に応じた施策を展開するとともに、市町村の健康増進施策を助成し、健康課題の解決に取り組む。</p> <p>・「いのちを支える大分県自殺対策計画」に基づき、子ども・若者対策や労働者・経営者対策等を実施し「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。</p> |